

## 環境教育ワーキンググループの2012年度の活動について

### 1) 教科学習での活用促進を目的とした湿原を題材とした学習資料の作成

5・6年生理科、社会科について、学校に提供できる情報として具体的にに取りまとめを進める。

### 2) 教員研修の実施

理科および社会科の視点からフィールドワークを主体とした教員研修を2回実施する。1回については釧路教育研究センターとの共催講座として実施する。

#### (1) 体感！釧路湿原～理科と社会の視点から～ 塘路湖の自然と湧き水

塘路湖周辺をフィールドとして、地域の産業（漁業）の源となっている豊かな自然や豊富な湧き水を体感するとともに、オオハンゴウソウを切り口に外来種の在来種への影響等を学ぶ機会とする。

[日程] 2012年8月23日（木）

[対象・定員] 釧路管内の小学校・中学校教員20名程度

※申し込み者19名。内初任者7名。

釧路市内小学校教員14名、同中学校教員2名、標茶町小学校教員2名、白糠町小学校教員1名

[講師] 新庄 久志 氏（釧路国際ウェットランドセンター主任技術委員）

照井 滋晴 氏（NPO 法人環境把握推進ネットワーク -PEG 代表）

[共催] 釧路教育研究センター

#### (2) 体感！釧路湿原～理科と社会の視点から～ 釧路川 源流からの水の路をたどる（仮）

※2回目の実施講座については、9月～10月の実施に向けて調整中。